

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ぼんぼこPROSSIMO		令和7年 4月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	作業・宿題などそれぞれ部屋・机をわけている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	0	各部屋に必ず職員を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	事業所に入ってから動線ができており、過ごす部屋割りもできている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	整理整頓・掃除はこまめに行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	個別対応できる部屋やスペースを確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	モニタリングの情報共有や日々のミーティングでそれぞれの児童のニーズを話し合い、支援に繋げている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	アンケートを実施したり、モニタリングや送迎時等で積極的に会話したりして情報共有を行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	毎日ミーティングを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	外部評価を共有し、結果を踏まえて話し合いを行ったり、法人内事業所間で連携をとり、業務改善につなげている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	研修受講する機会も多く、委員会における社内研修・勉強会は積極的に行われている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	ミーティングにて話し合われている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	常にニーズに着目し、本人や保護者の意向に沿って作成することを心がけている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	児童の支援に係る職員が、児童の特性などを話し合い、積極的に話し合いがおこなわれている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	情報共有は常に意識している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	業務日誌等に行動を記録することで、変化等の状況を確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	本人の強みに着目しながら、ねらいを踏まえた内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	グループ療育では、2か月ほどを2週間ずつに分けて、1つのテーマをレベルアップさせながらプログラムを進めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	話し合いにより、新しいプログラムが生まれるよう、色々なところからアプローチしている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	基本は集団活動で、時には個別の取り組みをまじえ、個々に合わせた支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	毎日のミーティングで担当を決めるなど、配慮や注意事項は念入りに打ち合わせ、チームで動くことを心がけている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	後回しにならないよう、事前に話し合うことを伝え、迅速に改善できるよう状況分析を心がけている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	送迎後・退勤前に必ず、その日のできごとや児童の様子を日誌等に記入し、共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	本人の状況等を共有することで見直しが必要か判断しやすくしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	積極的に外出したり、余暇時間が充実するよう心がけている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	自分でスケジュールの決定したり、作業内容も常に児童が選択できるようにしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	マネージャーや児童発達支援管理責任者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	情報を共有しあっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	引継ぎなど積極的に聞き取りをしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	こちらから引き継ぐ場合も情報をわかりやすくまとめるなど工夫している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	事業所での様子等、詳しく説明している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		研修の機会があれば積極的に参加したい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		公園にて交流する程度なので、今後、交流の機会がもてるようにしたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	機会があれば積極的に検討している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	支援方法などの提案も行い、同意の上で行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	こちらで用意したものを提供するなど積極的に行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	利用契約時や面談等で丁寧な説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	モニタリング・送迎時等で積極的に行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	支援内容を丁寧に説明し、保護者より同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	より適切な助言ができるよう、ひとりで判断せず、チームで確認している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1		販売会などの開催で保護者同士が関われる機会を設けているが、これから機会を増やしていけたらいいと思う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	上長に早急に報告相談し、レポートを作成し、全体で話し合うなど、よりよい改善を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	毎月の活動の様子や、イベント等をSNSへ投稿している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	ファイル分けをしたり、ダブルチェック等を実施し、丁寧に保管し、個人情報取り扱いに十分留意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	言葉だけでなく、意思伝達ツール（絵カードや、気持ちのカード等）で対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		地域住民への理解が必要である
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	SNSで避難情報をお知らせしたり、年2回訓練を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	消防知識のある職員から研修を受けている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	服薬の情報を聞き取り、職員間で情報共有している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	アレルギーのある児童情報を目につくところに貼って共有している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	職員の役割分担を決めて、安全管理を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	SNSにて避難訓練の様子を知らせるなど、安心安全な支援を行えるよう心がけている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	日々の業務日誌にヒヤリハットをあげ、ミーティングで改善策を話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	虐待防止委員会を通し、社内研修を行う等、虐待防止の取り組みを行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	利用契約時に説明を十分にし、保護者に必ず承諾を得ている	